

第2回 多治見市総合計画審議会にて審議する事項への意見

1、4年間で進めるまちづくりの大きな方向性について

多治見市の最大の課題が人口減少であることを認識しました。2040年までにも10万都市を維持するために、人口減少への対策が重要であることは理解しました。

しかしながら、人口調節への行政の介入は、ともすれば「産めよ、増やせよ」というメッセージが伝わってしまうのではないかと危惧します。少子化対策が、若い世代に対し、結婚し子どもを産み育てることが重要な役割と捉えられるような政策とならないことを願います。

2、政策の柱ごとの主な事業について不足はないか

政策の柱⑤市民が互いに助け合い学びあうまちづくり 施策3人権啓発 基本計画事業3「たじみ男女共同参画プラン」について、

多治見市における男女共同参画は、総合計画の中では、「柱⑤ 施策3人権啓発」の一事業となっていますが、男女平等な視座は、あらゆる政策・施策を行う場合に求められるものです。総合計画を実行するにあたり、どのような政策・施策においても、男女平等な視座をもって実行していただきたいです。

以上